

ID:TST0000-00052 デモ用医療機関 100

今回採取日:2018年11月14日 報告日:2019年4月26日 Ver.20190301

検査結果の見方

The screenshot displays the SalivaChecker app interface with four numbered callouts:

- 1 コメント**: A text box for user comments.
- 2 採取だ液チェック**: A section for checking the sample liquid, including options for '歯周病の傾向' (Periodontal disease tendency) set to '中' (Medium), '色調・混入成分' (Color/Turbidity) with '濁り白濁' (Turbid) checked, and 'だ液の濃度' (Liquid concentration) set to '適正' (Normal).
- 3 検査結果**: A diagram of the human body with colored boxes indicating cancer risk levels for different organs: 口腔がん (D), 肺がん (C), 大腸がん (B), 乳がん (A), 胃がん (A), 肝臓 (A), 膵臓 (A), 膀胱がん (A), 腎臓 (A), 子宮 (C), 卵巣 (D), 前立腺 (A), 精巣 (A).
- 4 グラフの見方**: A section explaining the graphs, showing five individual graphs for 肺がん (0.3, C), 膵臓 (0.15, A), 大腸がん (0.3, B), 乳がん (0.02, A), and 口腔がん (0.72, D). Each graph shows a curve and a risk level.

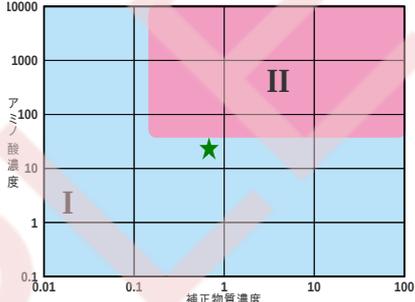
- 1 コメント**
今回の検査結果についてのコメントを記載しています。①が再検査を推奨するコメントの場合には②採取だ液チェックをご確認ください。なお再検査を推奨するコメントの場合、がんのリスク値を適正に評価できていない可能性があります。
- 2 採取だ液チェック**
今回検査しただ液の状態を示しています。
 - 歯周病の傾向
測定した代謝物質から、歯周病の傾向を「高」「中」「低」の3段階で示しています。「歯周病の傾向」が「高」または「中」の場合、がんのリスク値を適正に評価できていない可能性があります。
 - 色調・混入成分
だ液の白濁、異物混入の有無を示しています。「白濁」「混入物質あり」の場合、がんのリスク値を適正に評価できていない可能性があります。
 - だ液の濃度
代謝物質等の濃度を示しています。グラフのII(ピンク色)枠内の場合、色調や採取時間が長かった等の要因によりがんのリスク値を適正に評価できていない可能性があります。
- 3 検査結果**
今回のがん毎のリスク評価結果を示しています。
- 4 検査結果の詳細**
今回の検査結果の詳細を示しています。

コメント

すべてのリスク値はAまたはBの範囲(低い値)となりました。今回の検査において、がんのある可能性は低いと考えられます。

健康診断なども併用し、唾液がんリスク検査でも定期的に経過を確認してください。

採取だ液チェック

歯周病の傾向	色調・混入成分	だ液の濃度
高 <input type="checkbox"/>	混入成分あり <input type="checkbox"/>	
中 <input checked="" type="checkbox"/>	白濁 <input type="checkbox"/>	
低 <input type="checkbox"/>	薄い白濁 <input type="checkbox"/>	
	適正 <input checked="" type="checkbox"/>	



今回検査しただ液

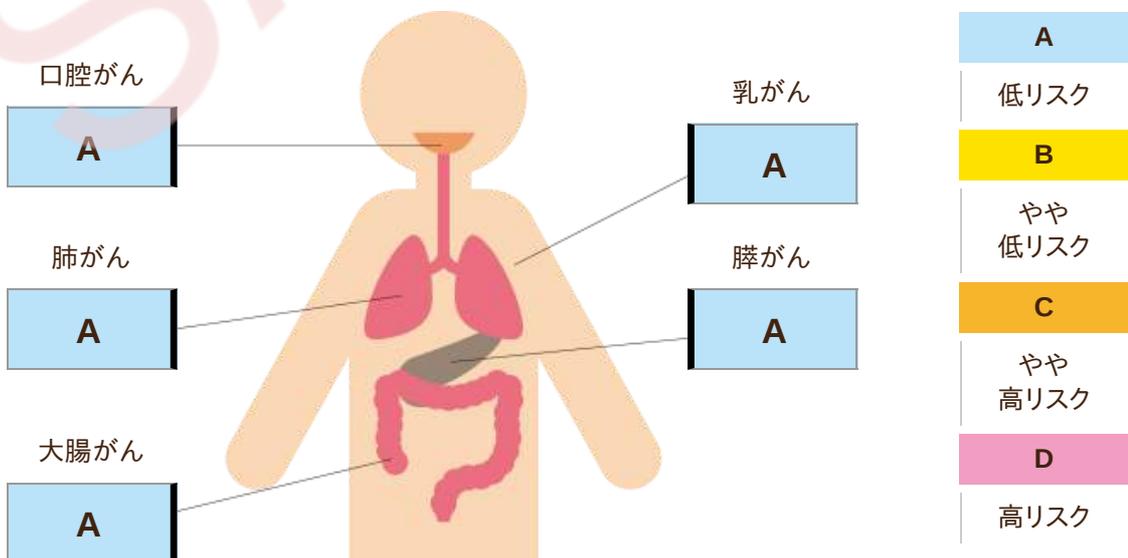
※冷凍することにより、色調が採取時と分析時で変化していることがあります。

I 適正にだ液が採取できています。

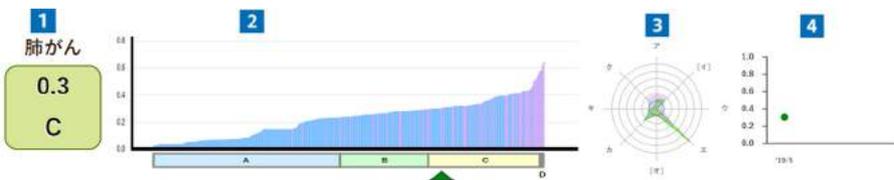
II 色調・混入成分が適正ではない場合や採取時間が長かった場合など、適正にだ液が採取できていない可能性があります。

リスクが高いと評価された場合、再検査をお勧めします。

検査結果



グラフの見方



1 リスク値

今回の検査結果を0~1.00の数値で表しています。

2 臨床データ分析

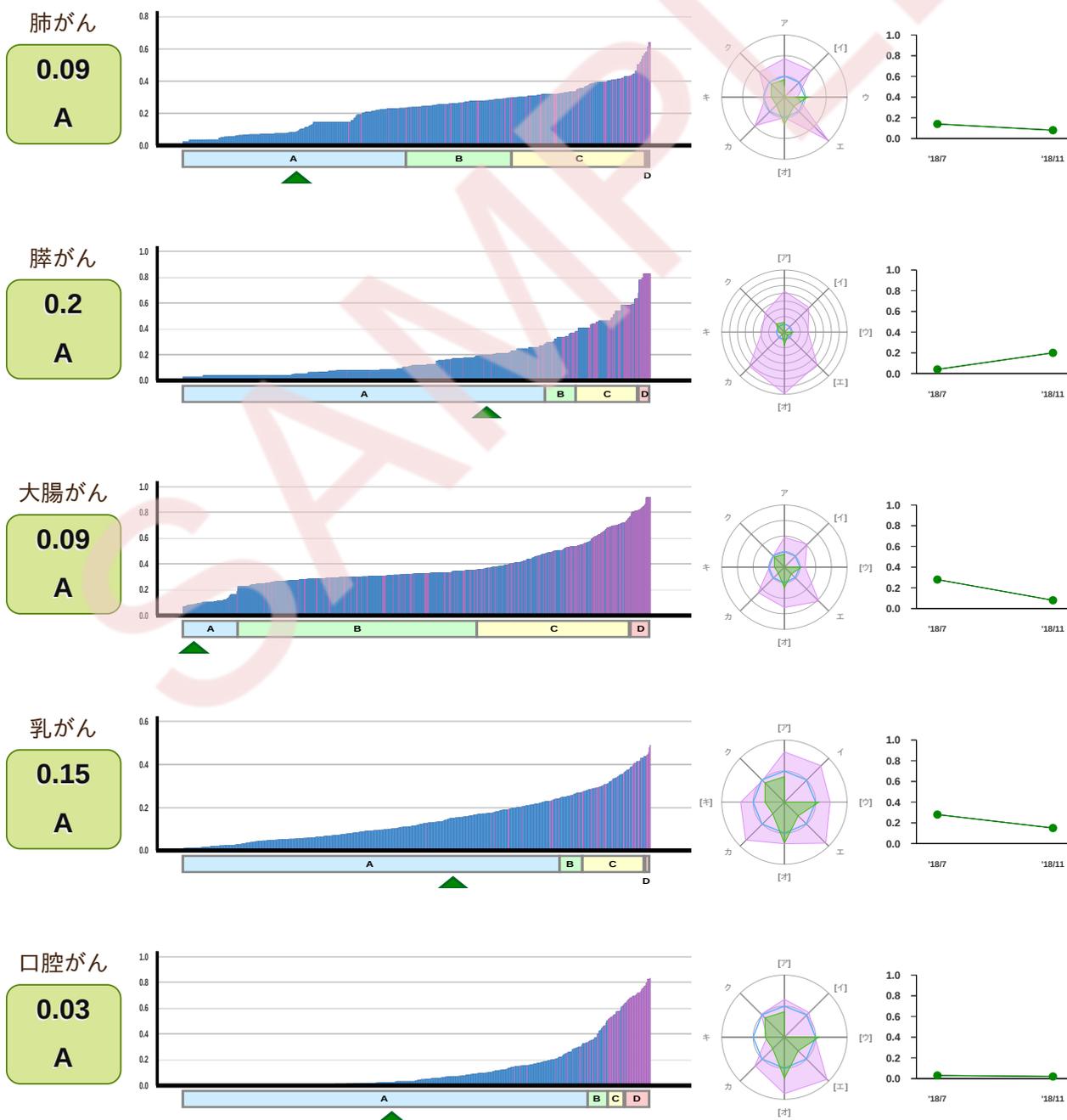
今回の検査結果と、臨床研究データを比較し算出した結果を ▲ で示しています。
グラフの横軸はがんの方 ■ とがんでない方 ■ の分布を示します。

3 成分分析

測定した代謝物質(ア~ク)をがんでない方の平均 ● を基準とした際、今回の測定結果 ● とがん患者の平均 ● が、それぞれどれくらい差があるかを比較しています。食事の影響がみられる場合、だ液の色調が適正ではない場合等は特異的な形を示します。一例をレポート解説書に記載しています。

4 検査結果の推移

これまでの結果を比較できるように、時系列で表示しています。白抜き○はリスクを適正に評価できていない可能性のある場合です。



本検査で対象としているがんについて、
医師が診断を行うための検査例です。
検査希望の場合は
直接医師へご相談ください。



【肺がん】

- ①胸部X線検査: 胸部全体にX線を照射し、肺に異常な影があるかどうかを調べます。
- ②胸部CT検査: 胸部にあらゆる角度からX線を照射し、輪切り状に撮影します。



【膵がん】

- ①超音波検査: 体内の組織から反射してくる超音波を感知し、その強弱差を画像にする検査です。
- ②腹部CT検査: 腹部にあらゆる角度からX線を照射し、得られた情報をコンピューターで解析します。
- ③血液検査(各種マーカー): 2種類を組み合わせることが多いです。



【大腸がん】

- ①便潜血検査: 便の表面を擦って、検体を提出し、血液が付着しているかどうかを調べます。
- ②大腸内視鏡検査: 先端にCCDカメラを装着した細い管を肛門から挿入し大腸の内側を観察します。



【乳がん】

- ①マンモグラフィ検査: 乳房専用のX線検査。乳房を2枚の板で挟み、乳房全体を撮影します。
- ②乳腺エコー検査: 超音波を受発信するプローブを胸にあて、反射した乳房の断面をモニターに映し出します。



【口腔がん】

- ①視診・触診: 粘膜が白くなったり赤みを帯びたりしているところや潰瘍がないか、指で触れてしこりや盛り上がりがないかを観察します。
- ②デンタルCT検査: 座った姿勢でX線を照射し、頭部を輪切り状に撮影します。

免責事項

- 本検査は診断などの医療行為に該当するものではありません。本検査により得られる情報は、医師による診断に代わるものではありません。
- 本検査でリスク値が高いと評価された場合でも、現在疾患に罹患していることを確定するものではありません。リスク値が低いと評価された場合でも、現在疾患に罹患していないことを保証するものではありません。将来にわたって疾患に罹患しないことを保証するものではありません。
- 本検査結果について、不安なこと、相談したいことがある場合には、検査・測定機関のウェブサイトに記載されている「検査後の相談ができる病院・クリニック」、またはかかりつけ医等にご相談の上、その指示に従ってください。
- 検査試料・測定データの取り扱いについては、検査提供元へお問い合わせください。
- 今後研究が進むことにより、判定できる疾患が増える可能性があります。過去の測定データから判定することはできません。
- 本検査は検査前の注意事項を守れなかった場合および当日の被検者の体調等により、検査結果に影響が出る場合があります。

禁止事項

- 本検査結果について、インターネット(ブログ、SNS含む)への公開を禁止します(この「検査結果のご報告」をカメラ等で撮影しアップロードすることを含みます)。

検査・測定機関:

Saliva Tech
株式会社サリバテック

〒997-0052

山形県鶴岡市覚岸寺字水上246番地2

鶴岡メタポロームキャンパス内

検査責任者 吉田 明弘

<レポート解説書>

本レポートの詳しい見方はこちら



<https://www.salivatech.co.jp/report-manual>

<FAQ、問合せ>

よくある質問、お問い合わせはこちら



<https://www.salivatech.co.jp/faq>